

## 特別対談

### 日本の森林資源と 国産材マシンカットログの可能性

林業の衰退、見放された山林など、問題が多いのは確かだが、本来、日本にはとても豊かな森林資源がある。その大切な資源をどう使うべきなのか、森と木をよく知るおふたりに話を聞いた。

人間の感覚を大事にすれば、木の家が一番。  
いま、日本に育つ良材をログ材に使いたい  
ログラフ

## 松田重信さん

松田重信さん(以下松田) この黒姫のアファンの森は、本当に美しくなりましたよね。

C.W. ニコルさん(以下ニコル)

多様な生態系が蘇りましたよ。注目してくれる人も増え、2016年には天皇・皇后両陛下にもご来訪いただきました。でも、全国的にみれば、まだ放置状態で荒れている山がほとんどでしょう。

松田 昔は森が身近な存在だったのに、森から離れ、それをよしと考える時代が長かった。木を扱うにしても、山に入るのではなく、商品として商社で扱っているもののほうがいいという価値観ができてしまいました。でも、私たちはもう一度、山を復活させなければいけませんよね。

ニコル そうですね。森の手入れをすればいいだけです。かつて外国人だった僕ができるんだから、日本で生まれ育った人ができないはずがありません(笑)。

松田 私が考えているのは、信濃町で育った木を使い、ログハウスをつくることです。国産材は値段

アファンの森を歩く。アファンの森は2002年に一般財団法人に認定。現在は、エコツーリズムの実習の場としても利用されている



が高いイメージがありますが、実際、山主さんが市場に卸す価格はとても安い。それをそのまま使えばいいんです。ところが、家を売る側も「新材を使うほうが安く建てられる」という感覚だし、買う側もそれがいい建物だと思いません。ひどい話ですが、バイオマス発電で林業を活性化させようというって、建築用に育ててきた立派な木も、小径のB・C材も区別なく伐採し、燃やしてしまっ

まつだ・しげのぶ ●長野県信濃町と愛知県小牧市を拠点とするログメーカー、ログラフ代表取締役。約40年にわたりログハウスづくりに携わってきた経験を生かし、現在は地元材を使ったマシンカットログハウスづくりに積極的に取り組んでいる。このたび、国産材を国内加工するログキット「AZEKURA」を開発した

国産材を使えば、森が手入れされて健康になる。そのサイクルをつくればいいのです

C.W.

ニコルさん

●しー・だぶりゆー・にこる 1940年英・ウェールズ生まれ。1986年に自身が暮らす黒姫の荒廃した森を購入。「アファンの森」と名づけ、土地を買い足しながら、手をかけて再生させる活動を続けている。1995年に日本国籍を取得





15年ほど前、ニコルさんが松田さんに依頼して建てたサウンドシェルター。カナダのクチン族がトナカイ狩りのときに使うテントをモチーフにした

ている地域があります。ただ燃や  
すくらいなら、その木を使って家  
をつくったほうがよっぽどいいは  
ずなのに。私はその現状を変えたい  
と思っています。

**ニコル** 僕は、東日本大震災で被災した宮城県東松島市に小学校を  
再建するのを手伝ってほしいと頼  
まれたとき、「コンクリートの箱  
ではなく、日本の木でつくった校  
舎でないと、私の理想とする教育  
はできません」と返事をしました。  
町や親御さん、教育委員会はサポ  
ートしてくれたけれど、地域の中  
には猛反対する人が多くいました。  
日本は地震がある国ですから。  
でも、世界で最も古い木造建築は  
どこにありますか？一番大きな  
木造軸組構造の建物はどこにあり  
ますか？ どちらも日本ですよ。

徹底的に議論をして、国産材を使  
わない理由を全部聞きましたが、  
僕からすれば、それらは言い訳で  
しかありません。

**松田** そうなんです。

**ニコル** 結局、できるまで7年か  
かりました。でも、木造の学校は  
インフルエンザやアレルギーが少  
ない。そしてストレスが少ないん  
です。給食の食べ残しが平均値よ  
りずっと低い2%まで下がったと  
か、図書室の貸し出し数が1年で  
2割上がったという効果も出たそ  
うです。宮野森小学校といいます  
が、本当に美しい小学校ですよ。

**松田** 木の学校なら、子どもも行  
きたいと思いますものね。建物つ  
て、もともと外敵から身を守るた  
めに建てたわけですが、現代の外  
敵は何かと考えると、ストレスと  
かホルムアルデヒドとかじゃない  
でしょうか。住む人を守るという  
役割が家にあるならば、工業製品  
ではなく木でつくるほうがいい。  
そもそも生き物としての感覚を大  
事にすれば、だれもが木の家を選  
ぶんじゃないでしょうか。だから、  
小さなお子さんがいるとか、本  
当にその家が必要としている家庭  
に、安価で国産材のログハウスを  
提供できたらいと思うんです。  
**ニコル** そうやって国産材が使わ  
れれば、森も手入れされて健康に  
なるし、森が健康になれば、水が  
きれいになる。ひいては、気候変  
動を防ぐことにもなるんです。



きちんと手入れさえすれば、日本の森にも建築用でも家具用でも、質の高い木が育つという

**松田** 家をつくるわれわれも、国  
産材を使うほうが長く仕事ができ  
るだろうし、次世代の職人も育ち  
ます。最近では、こうした考えに賛  
同してくれる人も増えてきました。  
たとえば、千葉でプレカット工場  
をやっているシー・エス・ランバ  
ーさんが、マシンカットログの加  
工をしてくれるようになりました。  
ログ材の加工を行う工場は日本に  
は少ないのですが、地理的に日本  
の中心に近く需要も多い首都圏に  
このような場所ができたというの  
は、大きなことだと思います。移  
動距離が長いほど、輸送コストは  
上がっていきますからね。  
**ニコル** 僕がいいなと思うのは、



「心と技術がある人に国産材を使ってほしい。そうすると森が育ちます」

移動式の製材機。ニュージーラン  
ドとかにあるんだけど、それだと  
山で伐った木をその場で製材して  
搬出できる。製材したほうが断然  
運びやすいからね。重機が入れな  
い場所なら、馬で途中まで運び出  
して製材し、大型トラックが通れ  
るところまで出せばいいんです。

**松田** そう、ニコルさんは山から  
木を出すのに、馬を使うホースロ  
ギング（馬搬）という方法を提唱  
してらっしゃいますよね。  
**ニコル** 馬はどこでも入れるし、  
運ぶのに地面が硬くならず森にも  
やさしいんです。全部馬でとい  
うのではなく、ハイブリッドで考え  
ればいいと思います。

**松田** 森を守る人がいて、森から  
木を出す人がいて、その木を使っ  
て家や家具をつくる人がいて、そ  
してそれを選んでくれる人がいる。  
そういう輪をもっと日本全国に広  
げていきたいですね。  
**ニコル** そう、そのとおりだと僕  
も思います。